

# 2019年度の展示室



## 春の特別展

### 「スキャンダル～噂の文豪～」

(4月13日～6月30日)

文豪谷崎潤一郎も、スキャンダルの主人公として世間を騒がせた醜聞めいた人間関係の中に少なからず身をおいた。が、そこは文豪。複雑に交錯する人間関係のテンションを創作へのインスピレーションへと変換させていった。まともに受けとめたならば、耐えられそうにもない愛憎の渦を、谷崎はみずから巻き起こしときに操りつつ書きとめていったかのようにもみえる。谷崎にとっての現実とは、作品のために企てられた虚構だったのだろうか？谷崎をめぐる生の人間関係に隠された名作誕生の秘密を、浮き彫りにした。

## 秋の特別展

### 「What is TANIZAKI? ～多面体の文豪～」

(9月14日～12月8日)

日本の近代文学を代表する文豪・谷崎潤一郎。その生涯は80年にも及び、作家としてのキャリアも、半世紀をこえる。死の直前まで筆を放さず第一線で書き続け、膨大な数の傑作群を生み出した。まさに「大谷崎」と呼ばれるにふさわしい、堂々たるボリュームの人生である。それだけに谷崎には、人間としても、またその作品世界を見渡しても、様々な表情豊かな顔がある。「マザーコンプレックス」「マゾヒスト」「耽美主義者」「食通」「猫好き」・・・万華鏡の中で千変万化に乱れ咲く虚構の花にも似た、多面体の文豪「谷崎潤一郎」を解体し再構成した。



## 夏の特設展

### 「歌人」谷崎潤一郎

(7月6日～9月8日)

谷崎の和歌には、じかに話しかけてくるような独特の風がある。そんな肉声にも似た歌々を、文豪の肉筆の味わいととも展示。



## 冬の特設展

### 「潤一郎、The show time!!」

(12月14日～2020年3月8日)

谷崎の作品群は、映画・演劇等に数多く翻案されてきた。そんな「エンターテイメントの文豪」という視点から、谷崎の文学を見渡した。